

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成22年4月2日(2010.4.2)

【公表番号】特表2009-539372(P2009-539372A)

【公表日】平成21年11月19日(2009.11.19)

【年通号数】公開・登録公報2009-046

【出願番号】特願2009-514240(P2009-514240)

【国際特許分類】

C 1 2 N 1/20 (2006.01)

A 2 3 L 1/30 (2006.01)

A 6 1 K 35/74 (2006.01)

A 6 1 P 1/14 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 1/20 A

C 1 2 N 1/20 E

A 2 3 L 1/30 Z

A 6 1 K 35/74 A

A 6 1 P 1/14

A 6 1 P 43/00 1 0 5

【手続補正書】

【提出日】平成22年2月9日(2010.2.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ラクトバチルス・ロイテリ D S M 1 7 9 3 8 の生物学的に純粋な培養物。

【請求項 2】

ラクトバチルス・ロイテリ D S M 1 7 9 3 8 の生物学的に純粋な培養物を含む組成物。

【請求項 3】

ラクトバチルス菌株からプラスミドを除去するステップを含む、ラクトバチルス菌株の耐酸性を増大させる方法。

【請求項 4】

ラクトバチルス菌株がラクトバチルス・ロイテリの菌株である、請求項 3 に記載のラクトバチルス菌株の耐酸性を増大させる方法。

【請求項 5】

ラクトバチルス菌株からプラスミドを除去するステップを含む、ヒトの胃でより良好にコロニーを形成することができるラクトバチルス菌株を提供する方法。

【請求項 6】

ラクトバチルス菌株がラクトバチルス・ロイテリの菌株である、請求項 5 に記載のヒトの胃でより良好にコロニーを形成することができるラクトバチルス菌株を提供する方法。

【請求項 7】

プラスミドが除去されているラクトバチルス菌株を含むプロバイオティック製品。

【請求項 8】

全プラスミドが除去されている、請求項 7 に記載のプロバイオティック製品。

【請求項 9】

菌株がラクトバチルス・ロイテリの菌株である、請求項 7 に記載のプロバイオティック製品。

【請求項 10】

菌株がラクトバチルス・ロイテリ D S M 1 7 9 3 8 である、請求項 9 に記載のプロバイオティック製品。